教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 建築学科　　資格： 教授　　氏名： 山本　親

研究分野	研究内容のキーワード
建築意匠、都市計画	設計方法、シカゴ派、ミース・ファンデル・ローエ、都市空間
学位	**最終学歴**
工学修士、Master of Architecture	Graduate school, Illinois Institute of Technology, USA 京都大学大学院工学研究科修士課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.建築計画マネジメント論の指導	2021年9月17日～現在	建築を計画する、特に設計段階の実務において行われる業務と、それらを遂行するための知識について概要を述べる。特にスケジュール管理、品質管理について詳述した。
2.建築設計演習の指導	2021年4月1日～現在	学部学生および大学院学生の設計演習指導。 担当した課題の建物用途は、クラブハウス、病院、駅舎、劇場、美術館、住宅、都市空間計画など。学生の作成した計画案を審査し、改善点、代替案を示し、設計の要点を理解させ、より優れた計画案へと導く。
3.公開設計競技案作成の指導	1991年11月から2011年3月	美術館、駅舎など、より公共性のある施設の設計競技において、参加メンバーが自由な討論を行うことで施設のコンセプトを作り上げ、それを模型や図面で検証し、提案を作り上げて行く。その行為の中で、純粋に建築的思惟を深め、また共同作業の進め方を学ばせる。
4.事務所建築の計画と設計の実践	1986年4月から2019年12月	事務所建築設計の基本的考え方、すなわち什器のレイアウト、モジュールの検討、空調方式の選択、構造方式の選択などを、実際の計画において実践させ、随時講評を行う。また代案を示し、理解を深めさせる。
2 作成した教科書、教材		
1.講義資料　グリッド	2023年4月	建築におけるグリッドの役割を理解させるための講義資料。 日本建築における畳の寸法体系と、それがどのように建築に影響しているかについて述べ、グリッドシステムの序とする。またミース・ファンデル・ローエ設計のバルセロナパビリオンおよびIITキャンパスを取り上げ、グリッドの役割、それによって生まれた空間について述べる。
2.Shugaku-in Imperial Villa	2022年7月	友好関係にあるトルコのバチシエ大学建築学部の教員、学生に対して修学院離宮を紹介するための資料（英文）。 修学院離宮建設の経緯、そこに込められた思想について述べる。また桂離宮との比較を行う。
3.講義資料　住居・空間について	2022年4月	３年生建築設計演習課題「三世代で住む家」のための資料として作成。 食寝分離論、就寝分離論、PP分離などの住宅設計原理について触れ、また日本の伝統的住宅空間について論ずる。後半ではミース・ファンデル・ローエの住宅計画の変遷を見、その方法の変化と意味を考察する。
4.建築計画マネジメント論	2021年9月	マネジメントの意味から始め、建築（とりわけ設計の）実務におけるマネジメントの内容を述べる。特に、設計組織と設計工程の管理について例を挙げて示し、また品質管理のための『ISO9001』の概要を説明している。
5.Katsura Imperial Villa	2021年7月	友好関係にあるトルコのバチシエ大学建築学部の教員、学生に対して桂離宮を紹介するためのもの（英文）。 桂離宮建設の経緯、空間の特徴、現代建築との比較などを通して、桂離宮の魅力を述べている。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
6.『都市の中の病院』『病院の中の都市』を考える	2021年5月	都市環境という視点に於いて病院がどのような意味を持つか、また病院そのものも一つの都市であるという視点から見た場合、どのような設計上の工夫があり得るかについて、ヒントとなる論点を紹介する。またユニバーサルデザインの実務知識について述べる。
7.ユニバーサルデザインとバリアフリーデザイン	2021年4月20日	障害者に配慮したデザインの歴史をたどり、ユニバーサルデザインとバリアフリーデザインの概念的違いについて述べた。また障害者に配慮したデザインの実際的知識を示した。
8.事務所基準階平面図集	2008年2月	事務所空間の様々な例を比較し、その差異を指摘することで事務所空間の特性を理解するのに役立てるもの。
9.マンションの読みかた教えます	2002年2月15日発行	現代日本の集合住宅計画おける、歴史的な流れ、住宅の平面計画の考え方、棟配置の解説、住宅性能等について解説し、現代の共同住宅計画の理解に資するものとした。
10.米国シカゴ派建築のスライド	1986年4月	米国滞在中に撮った建築写真。とりわけシカゴ派の事務所建築の写真をスライド化し、現代事務所建築に至る歴史的な流れの理解に資するためのものとした。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.グローバル人材の育成を担える実務経験	2011年7月から2016年9月	建設会社のシンガポール支店長として、シンガポールに5年3か月勤務した。日本企業の海外展開の当事者として活動し、いわゆるグローバル化の現場を経験した。これにより学生指導においても、海外で通用する人材に必要とされる資質を示すことができる。
2.豊富な建築・環境設計実践の裏付け	1978年4月から現在	実務者として多数の建築設計（事務所、ホテル、物販建築、飲食店舗、集合住宅、学校、病院、工場など）、および工事監理業務に携わってきた。これらの経験から「実際に建てる」という観点からの実践的指導を行える。
4 その他		
1.バウハウスの流れをくむ教育の体験	1981年9月から1983年8月	ドイツにおけるバウハウスの最後の校長であり、20世紀の最も偉大な建築家の一人であったミース・ファンデル・ローエが、シカゴにおいて建築学部長として教育を実践したイリノイ工科大学建築学科大学院に在学し、その教育課程を実際に経験した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.福祉住環境コーディネーター1級	2003年2月2日	
2.インテリアコーディネーター	2000年4月1日	
3.一級建築施工管理技士	1986年8月20日	
4.実用英語技能検定一級	1983年12月12日	
5.一級建築士	1981年2月14日	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.経営とデザインの学際的アプローチの可能性	2011年7月から2016年9月	建設会社のシンガポール支店長兼現地法人会長として、シンガポールに5年3か月勤務し、専門の建築だけでなく、経営に関する知識を得て実践を行う機会を得た。経営におけるデザイン的視点、建築デザインの経営的観点からの考察の重要性を認識している。
2.設計、建設、その他産業界実務者との交流	1978年4月	実務者として多数の建築設計および工事監理業務に携わって来た。その間、設計、建設のほか、様々な業界の実務者と交流し、ネットワークを広げている。
4 その他		

研究業績等に関する事項

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.マンションの読み方教えます	単	2002年2月発刊	文芸社	「マンションを選ぶための住宅計画学入門」と副題がつけられている。一般の読者、建築初学者を対象として、共同住宅の計画を説いている。商業的なコピーに惑わされずにマンションを選ぶ王道を述べ、併せて共同住宅論を試みた。
2 学位論文				
1.Prefabricated Housing	単	1983年8月	Illinois Institute of Technology	プレファブ建築の概念の変遷、その意義を歴史的に説いた。また米国、日本におけるプレファブ建築の実例を調べた上、プレファブ住宅の提案を行った。
2.歩行者シミュレーションモデルにおける室内空間・火災及びサインの情報の取り扱いに関する研究	単	1978年3月	京都大学大学院工学研究科	建築空間内を動く歩行者の動きを予測するためのシミュレーションモデルに、火災の発生やサインなどの情報を認識させ、モデル内で取扱う研究。そのために三次元空間をモデル化する論理の構築を試みた。工学修士取得のための論文
3 学術論文				
1.建築空間における歩行のためのシミュレーションモデルの研究 -その４　群衆歩行の透視図による表現（査読付）	共	1981年1月	日本建築学会論文報告集第299号	著者：岡崎甚幸、山本親 担当部分：論文の主題であるシミュレーションモデル中の、透視図の表現に関する部分については、山本の研究によるものであるが、論文とするにおいては共同の作業であり、本人担当部分の抽出は不可能。 概要：多数の歩行者の歩行行動を示すシミュレーションモデルにおいて、指定された任意の歩行者の視野に映る空間を三次元的に表現するため、平面図に高さ方向のデータを与えて、三次元の空間表現（透視図）を得る方法の研究。これにより歩行者のシミュレーションの結果を、あたかもその空間の中にいるように感じ取ることができ、その中の歩行者の動きを観察できるようになる。またこれにより建築空間の設計において、壁や柱、あるいはサインなどの配置計画に役立てようとするものである。
2.群衆歩行のシミュレーション － その３　歩行経路の選択およびその４　避難行動	共	1978年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集1978年計画系分冊	著者：岡崎甚幸、松下聡、山本親 担当部分：共同研究につき、本人担当部分の抽出は不可能 概要：群衆の動きを電磁気学の理論を用いて詳細にモデル化し、コンピューター画面上に再現しようという研究である。当該シミュレーションモデルの内、歩行者が経路を選択するアルゴリズムの部分、および火災時の避難行動を再現しようとするアルゴリズムについえ発表された。
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2022年1月1日～現在	西宮市公共事業評価委員 日本建築学会